



健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
<p>○トイレやおやつ時等の手洗いの徹底。</p> <p>○おやつを食べ終えたら配膳室までお皿を運びます。</p> <p>○お買い物ごっこ（おもちゃのお金で予算を決めてデイのお菓子を計算して選択。）</p> <p>○平日デイ終わりで子供達による掃除の時間があります。（モップ、雑巾、掃除機等、当該児童に合わせた作業。）</p> <p>○おやつ作り（準備-調理-後片付け）を通して、基本的な生活スキルとなる食育を行います。</p> <p>○スタッフと共に実際にスニーパーに行き、メモ通りに買い物体験します。</p> <p>○靴下を履く、靴をかごに入れる、連絡帳を出すなど、できる事は自分でやるように声をかけます。</p> <p style="text-align: right;">他多数</p>	<p>○風船バレー</p> <p>○ダガー</p> <p>○自転車こぎ</p> <p>○ボール遊び</p> <p>○トランポリン、トンネル遊具、バランスポール</p> <p>○アイトンピース制作</p> <p>○パズル、巨大オセロ</p> <p>○ボタ止め、レゴ。組紐編みなど</p> <p>○折り紙、塗り絵、粘土遊び</p> <p>○椅子に座って食事をする姿勢の保持。</p> <p>○体幹、体力を鍛える為、月曜日から土曜日までダンスタイムを設けています。</p> <p style="text-align: right;">他多数</p>	<p>○多動の児童には毎回～秒～分しっかりと座る指示を出し習慣化を促します。</p> <p>○絵や写真のカードを使ったコミュニケーション支援ツールを活用し、先の予定の理解と意思の伝達を円滑にします。</p> <p>○ピンポン球などを番号順に入れ物に入れたり、色分けして数や色の認識を捉える。</p> <p>○強いこだわりや偏食が見られる場合、少しでも軽くなるよう個々の児童の認知の偏りに対処します。</p> <p>○間違った行動をした場合「どうしたら良かったか」を子供と共に考え、次の選択肢の一つとなるようレベルアップに繋げていきます。</p> <p style="text-align: right;">他多数</p>	<p>○スタッフとの挨拶、食事の挨拶の習慣化。</p> <p>○不明瞭な言葉でも他人に伝わるようボディアランゲージを促します。（例・お願い、の代わりに「お」の発音や手を合わせる等。）</p> <p>○リクエストボードに自分がかけて欲しい曲を記す。</p> <p>○ボードゲーム・カードゲームなど遊びを通して意思の伝達や自発的な発言を促します。</p> <p>○読み聞かせや学習プリントを通じて、障害の特性に応じた読み書き能力の向上の支援を行います。</p> <p>○普段の会話から言葉を「受け取る」「伝える」事を練習。場面に合わせた SST を行っています。</p> <p style="text-align: right;">他多数</p>	<p>○休日は主に外部施設訪問。並ぶ、順番を守るなどの規律を実際に学びます。（例・公園、プール、アイススケート場、新聞博物館など行き先多数。）</p> <p>○支援学校の先生方とも情報を共有。おやつはどれくらい食べたか？機嫌はどうか？などエニタイムの連絡帳でもご家庭にお子様日々の様子を詳しく伝えます。</p> <p>○毎日行うレクリエーション（例・だるまさんがころんだ、いろおに等）を通してルールを理解し集団で遊ぶ協調性の発達を促します。</p> <p>○スタッフやデイの仲間を介して「できる事・できない事」など、自分の特徴を理解すると共に、気持ちや行動のコントロールができるように支援します。</p> <p style="text-align: right;">他多数</p>